

# 生田緑地自然環境保全管理会議ニュースレター

## ■議事概要

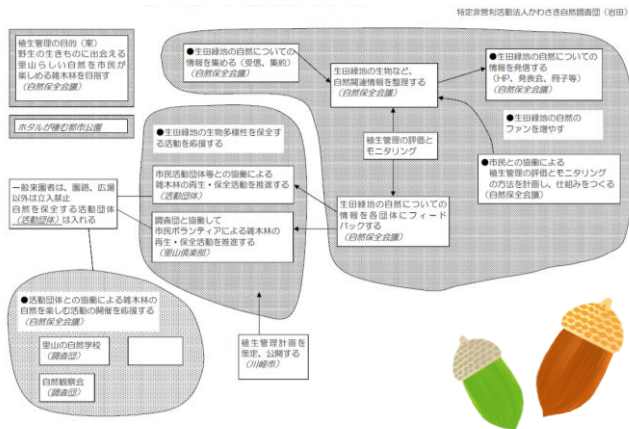
□日程：令和6年1月27日（月）

□場所：生田緑地整備事務所2階 □参加者：21名

□議題：0. 開会の言葉 1. 令和7年度・令和8年度役員について 2. 植生管理計画の将来像について 3. 令和6年度ナラ枯れ伐採について 4. 令和6年度木道補修工事について 5. 長者穴口斜面对策の今後の方針／初山地区の施設整備 6. 令和6年度コナラ林再生活動について 7. 「岡本太郎美術館」防水改修工事に伴う植栽の取り扱いについて

### 0.開会の言葉（会長）

●会長より、生田緑地自然環境保全管理会議の目的と活動についての私案の共有がなされ、今後、会員から意見を募りたいと呼びかけがありました。



▲生田緑地自然環境保全管理会議の目的と活動についての私案

### 1.令和7・8年度役員について（事務局）

●マネジメント会議会則上、任期2年とされる役員について、次期の令和7年度・令和8年度の改選に係る意見交換がなされました。マネジメント会議会則改訂について要望が出ましたが、自然会議内では会則について論じることができないため保留となりました。一方、会則内の自然会議への言及については、自然会議の目的・活動・組織について、あるべきシステムを協議した上でマネジメント会議等に提案を行う方向となりました。それまで、役員は現行のまま以下の通り継続留任いただくこととなりました。

- 会長：  
特定非営利活動法人かわさき自然調査団 団長 岩田臣生 氏
- 副会長：  
日本緑化工学会生物多様性緑化研究部会 井口実 氏  
かわさき宙と緑の科学館 学芸員 高中健一郎 氏

### 2.植生管理計画の将来像について（川崎市建設緑政局みどりの事業調整課・生田緑地整備事務所）

●みどりの事業調整課より、今年度改訂された生田緑地ビジョンに基づき、植生管理計画の再構築に向けて意見交換がなされました。課題として主に以下の5点が挙げられました。

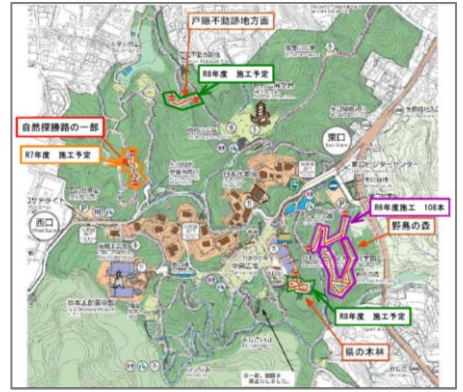
- ①植生管理計画を頻繁に変更できる仕組み
- ②生田緑地内で自然を手掛ける全ての団体と話し合える場
- ③専門的な知見を踏まえた管理を各団体と行う仕組み・専門家の常勤
- ④各団体の作業記録、情報管理の仕組み
- ⑤植生管理計画として大切な大分類レベルと実働作業で順応的に変化させてよいレベルの仕分け

▲生田緑地植生管理計画の構成と完成像(参考例)

### 3.令和6年度ナラ枯れ伐採について（生田緑地整備事務所）

- 生田緑地整備事務所より、令和6年度の伐採結果及び令和7・8年度の伐採予定エリアが共有されました。（右図参照）
- 野鳥の森エリアにおける今後の植生管理について、令和7年度冬期に向け、会員を呼びかけ一部のエリアで皆伐更新を実施する提案がなされました。  
課題として、以下2点が挙げられました。

- ①野鳥棲息の視点を持ち理解を得ていく必要
  - ②皆伐後のササ刈り等更新管理の継続
- 令和6年度結果及び令和7・8年度予定 ▶



### 4.令和6年度木道補修工事について（生田緑地整備事務所）

- 中央地区北側エリアの現在通行止めになっている木道補修について、令和6年度中に半分の区間を施工し、残りは令和7年度冬期に実施する予定が共有されました。

### 5.長者穴口斜面对策の今後の方針／初山地区の施設整備（川崎市建設緑政局みどりの保全整備課）

- 長者穴口斜面对策の今後の方針  
みどりの保全整備課より、平成29年台風21号の影響により土砂流出が発生した事象を受け、今後、中長期的対応を実施する意向が共有されました。会員からは、地形地質の専門家を入れた検討をお願いするとともに植生保全のため一端を固めるのではなく下で受ける砂防堰堤のような公園特有の施工をお願いしたい等意見が伝えられました。



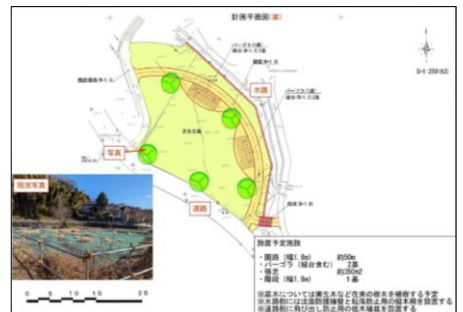
土砂流出の様子(H29)

R6	・測量①（平面測量）
R7	・測量②（断面測量） ・地質調査
R8・9	・斜面对策工法の決定
R10~	・斜面对策工事実施

今後の方針スケジュール

- 初山地区の施設整備について  
初山1-598-1において、令和7年度に施工予定の広場整備計画の図面及び設置施設（園路、張芝、パーゴラ）が共有されました。会員からは、舗装材として再生クラッシュランやコンクリートのような強アルカリ性は使用をしない事を依頼しました。

広場整備の図面及び現況写真 ▶



### 6.令和6年度コナラ林再生について（生田緑地共同事業体）

- 生田緑地共同事業体で令和6年度に取り組んだコナラ林の再生活動3か所について共有されました。中央地区南側梅園隣接エリアでのササ刈り及び生物モニタリング、中央地区北側飯室山展望台エリアでのササ刈り及びセイタカアワダチソウの防除、初山地区思い出の唄の小路エリアでの生田緑地産コナラ苗の植え付けといった活動を市民や小学校児童らと共に実施しました。

### 7.「岡本太郎美術館」防水改修工事に伴う植栽の取り扱いについて（岡本太郎美術館）

- 開館から四半世紀を超え、施設や設備等の老朽化や耐用年数の超過等により、作品保護に必要な適切な維持管理に向け速やかな改修が求められています。岡本太郎美術館職員より、防水改修工事のスケジュール（令和7年度下期～）及び工事に係る植栽の選定種や植栽方法について現状共有がありました。会員からは、植栽について、復旧や選定する種や株は生田緑地由来の株が望ましいことや、エリアによって酷暑に耐える種や株を選定してほしいといった要望がありました。

### 8.初山地区ゲンジボタルの遺伝子交雑について（明治大学 倉本教授）

- 令和4・5年度、初山地区にて学生研究によるゲンジボタル遺伝子解析調査が行われ、西日本型の遺伝子を持つ個体が確認されました。1例では議論が困難であるため追試の必要性が共有されました。

